化学物質等安全データシート（MSDS）

商品名　：アルファフォーム３１０Ｒ（水成膜泡消火薬剤　耐寒用　３％型）
整理番号　：MSDS No.047 Rev.0
作成改訂日：２００８年7月３１日（平成２０年7月３１日）

【１．化学物質等及び会社情報】

化学物質等の名称	：アルファフォーム３１０Ｒ
会社名	：ヤマトプロテック株式会社
住所	：東京都港区白金台５－１７－２
電話番号	：０５７０-０８０１００(ナビダイヤル)
担当部門	：テクニカルサポート室
緊急連絡先	：担当部門に同じ
推奨用途及び使用上の制限	：水成膜泡消火薬剤　耐寒用　３％型

【２．危険有害性の要約】

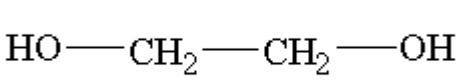
ＧＨＳ分類

物理化学的危険性	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高圧ガス	分類対象外
	引火性液体	区分外
	可燃性固体	分類対象外
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	区分外
	自然発火性固体	分類対象外
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類対象外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	分類できない
人健康有害性	急性毒性（経口）	区分5
	急性毒性（経皮）	区分外
	急性毒性（吸入：気体）	分類対象外
	急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
	急性毒性（吸入：粉じん）	分類対象外
	急性毒性（吸入：ミスト）	分類できない
	皮膚腐食性・刺激性	区分3
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分2B
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	区分外
	発がん性	区分外
	生殖毒性	区分1B
	特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	区分1(中枢神経系、呼吸器、腎臓、心臓)
	特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	区分1(中枢神経系、呼吸器、心臓)
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境有害性	水生環境急性有害性	区分3

水生環境慢性有害性　　区分外
ラベル要素
絵表示
又はシンボル：

注意喚起語：　危険
危険有害性情報：　飲み込むと有害のおそれ（経口）
軽度の皮膚刺激
眼刺激
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
中枢神経系、呼吸器、腎臓、心臓の障害
長期又は反復ばく露による中枢神経系、呼吸器、心臓の障害
水生生物に有害
注意書き：　【安全対策】
使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
必要に応じて個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。
【救急処置】
取り扱い後はよく手を洗うこと。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
皮膚に付着した場合、皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを求めること。
眼に入った場合、眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。
ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。
気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。
【保管】
施錠して保管すること。
【廃棄】
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

【３．組成及び成分情報】

単一製品･混合物の区分	混合物
化学名又は一般名：	エチレングリコール（Ethylene glycol）
化学式：	$C_2H_6O_2$
化学特性（化学式又は構造式）：	
ＣＡＳ番号：	107-21-1
官報公示整理番号（化審法・安衛法）：	(2)-230

分類に寄与する不純物及び安定化添加物：　情報なし。
濃度又は濃度範囲：　　10%

【4．応急措置】

吸入した場合：　被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
医師の手当、診断を受けること。
気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

皮膚に付着した場合：　皮膚を速やかに洗浄すること。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

目に入った場合：　水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

飲み込んだ場合：　口をすすぐこと。
気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

予想される急性症状及び遅発性症状：　吸入した場合：咳、めまい、頭痛。
皮膚に付着した場合：皮膚の乾燥。
眼に入った場合：発赤、痛み。
飲み込んだ場合：腹痛、感覚鈍麻、吐き気、意識喪失、嘔吐。

【5．火災時の措置】

消火剤：　不燃性につき該当しない。

使ってはならない消火剤：　不燃性につき該当しない。

特有の危険有害性：　不燃性につき該当しない。

特有の消火方法：　不燃性につき該当しない。

消火を行う者の保護：　不燃性につき該当しない。

【6．漏出時の措置】

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：　特になし。

環境に対する注意事項：黄色透明液体である。

封じ込め及び浄化の方法・機材：特になし。
二次災害の防止策：特になし。

【７．取扱い及び保管上の注意】

技術的対策：	特になし。
局所排気・全体換気：	特になし。
安全取扱注意事項：	特になし。
接触回避：	特になし。
保管	
技術的対策：	特になし。
混触危険物質：	特になし。
保管条件：	密閉状態で、水、ほかの薬品と混合しない。
容器包装材料：	推奨材料は、製品容器、及び該当タンク。 不適切材料は、密閉できない容器。

【８．暴露防止措置及び保護措置】

管理濃度：	設定されていない。	
許容濃度 （ばく露限界値、生物学的ばく露指標）：	設定されていない。	
日本産業衛生学会 （2006年版）		
ACGIH （2006年版）	TWA-STEL	5ppm（エチレングリコール）
設備対策：保護具	特になし。	
呼吸器の保護具：	適切な呼吸器保護具を着用すること。	
手の保護具：	適切な保護手袋を使用すること。	
眼の保護具：	適切な眼の保護具を着用すること。	
皮膚及び身体の保護具：	適切な保護衣、保護面を使用すること。	
衛生対策：	取扱い後はよく手を洗うこと。	

【９．物理的及び化学的性質】

物理的状態、形状、色など：	黄色透明液体
臭い：	特有臭
pH：	7.8
融点・凝固点：	－12.5℃以下
沸点、初留点及び沸騰範囲：	100℃
引火点：	沸点以下ではなし
爆発範囲：	データなし
蒸気圧：	測定データなし
蒸気密度（空気 =1）：	測定データなし
比重（密度）：	1.026
溶解度：	混和する（水）
オクタノール/水分配係数：	該当しない
自然発火温度：	データなし
分解温度：	データなし
臭いのしきい（閾）値	データなし
蒸発速度(酢酸ﾌﾞﾁﾙ＝１)：	データなし
燃焼性（固体、ガス）：	該当しない
粘度：	3.3ｃＳｔ（20℃）

【１０．安定性及び反応性】

安定性：	避けるべき条件、混触危険物質は特になし。
危険有害反応可能性：	情報なし。
避けるべき条件：	情報なし。
混触危険物質：	情報なし。
危険有害な分解生成物：	特になし。

【１１．有害性情報】

急性毒性：	データなし。
皮膚腐食性・刺激性：	データなし。
眼に対する重篤な損傷・刺激性：	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性：	データなし。
生殖細胞変異原性：	データなし。
発がん性：	データなし。
生殖毒性：	データなし。
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）：	データなし。
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）：	データなし。
吸引性呼吸器有害性：	データなし

【１２．環境影響情報】

水生環境急性有害性：	ＣＯＤ：6400ｍｇ／Ｌ　（３％水溶液）
水生環境慢性有害性：	ＢＯＤ：7000ｍｇ／Ｌ　（３％水溶液）

【１３．廃棄上の注意】

残余廃棄物：	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を依託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装：	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

【１４．輸送上の注意】

国際規則

海上規制情報	非危険物
航空規制情報	非危険物

国内規制

陸上規制情報	非危険物。
海上規制情報	非危険物
航空規制情報	非危険物

【１５．適応法令】

労働安全衛生法：	名称等を通知すべき有害物（エチレングリコール）10% （法第57条の2、施行令第18条の2別表第9） （政令番号　第75号）
化学物質排出把握管理促進法（ＰＲＴＲ法）：	第一種指定化学物質（エチレングリコール）10%
消防法：	該当しない。

【１６．その他の情報】

本ＭＳＤＳ記載の内容は我々が知り得た最新の情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや危険性、有害性等の記載内容に関してはいかなる保証をなすものではありません。ご使用に際しては国、地域、機関等の、最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先して下さい。

またすべての化学製品には未知の危険性や有害性があり得るという認識でご使用下さい。危険性や有害性も、使用時の環境、保管状態、保管期間によって異なります。ご使用時を含め、保管、廃棄に至るまで専門知識や経験のある方の指導の元で扱うことをおすすめします。

なお、記載の注意事項は通常的な取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いをする場合には状況に適した安全な条件設定を講じた上で、ご使用者各位の責任において使用して下さるようお願いします。